

授業概要

『十八史略』は十七の正史と宋代の史書一つのダイジェストであり、今でいう受験参考書のようなものである。日本でも初学の必読書として江戸時代の藩校や明治以後の小・中学校の教材として用いられていた。本講座は中でも有名な箇所を高校教科書から取り上げて精読し、その後に司馬遷『史記』『三国志』などの該当箇所とを読み比べる。正史である『史記』も物語的叙述が多く読みやすいものであるが、モンゴル人や初学者向けの『十八史略』との記述内容の違いを明らかにしつつ漢文のレトリックを講義する。

授業計画

第 1 回	ガイダンスー『十八史略』と『史記』についてー
第 2 回	先從隗始ー燕世家ー
第 3 回	完璧ー廉頗藺相如列伝ー
第 4 回	鶏口牛後ー蘇秦列伝ー
第 5 回	鶏鳴狗盗ー孟嘗君列伝ー
第 6 回	管鮑之交ー管晏列伝ー
第 7 回	臥薪嘗胆・会稽之恥①ー吳太伯世家・伍子胥列伝ー
第 8 回	臥薪嘗胆・会稽之恥②ー越王勾踐世家ー
第 9 回	刺客荆軻①ー刺客列伝ー
第 10 回	刺客荆軻②ー刺客列伝ー
第 11 回	乱世之姦雄ー三国志・魏志ー
第 12 回	赤壁の戦い①ー三国志・呉志ー
第 13 回	赤壁の戦い②ー三国志・呉志ー
第 14 回	出師の表①ー三国志・蜀志ー
第 15 回	出師の表②ー三国志・蜀志ー
第 16 回	学期末試験

到達目標

『十八史略』の読解を通して、中国史の有名な事跡への理解・関心を深めることを目標とする。また、『史記』と表現の違いを比較することで、正史と野史の違いを確認する。

履修上の注意

授業は毎回配布するプリントを中心に行うため、授業中のメモや記録が必要となる。授業後にはリアクションコメントを課し、評価の対象とする。

予習・復習

授業後のリアクションコメントでその回の講義内容を振り返ること。プリントはきちんと管理して学期末試験に備えること。

評価方法

学期末試験 70%、受講態度やリアクションコメントの内容 30%

テキスト

- ・教科書名：
- ・著者名：
- ・出版社名：
- ・出版年 (ISBN)：